

2年生で行われる総合的な学習の時間の探究ゼミ活動の応用的な取組として、京都大学から参加の声掛けをいただいたポスターセッションについて、生徒に参加募集をしたところ、1グループが参加の意思を示した。週1時間の1年間というごく限られた時間の中での取組で、得られた実験データは少なかったが、できる限りの努力をして参加してくれた。後述の生徒の感想からわかるように、同学年の他校生徒からも大きな刺激を受け、今後のキャリア（大学入試のみならず、その後のことも含めて）に関係する気づきも多く、得られるものは多かったようだ。

1：開催の目的 研究発表（ポスターセッション）を通じて高校生が日頃の課題研究の成果を府県や学校の枠を越えて披露し、その後の自らの探究心及び知的創造力のさらなる向上を目指すものである。 2：開催日 平成31年3月16日（土） 3：会場 京都大学百周年時計台記念館 4：主催 京都大学 5：参加者 京都大学が指定する高等学校及び中等教育学校後期課程に在籍する生徒 6：参加費 無料（京都大学と高等学校等との直線距離がおおむね150km以上である場合は招へい旅費の対象） 7：参加生徒 2年生生徒3名

生徒の感想・振り返りシートより抜粋

1 参加の動機

①参加によって他校の生徒と交流することができ、物事を様々な視点から見えると思ったから。②自分と同年代の人たちが何に興味を持って研究したのか、ポスターや発表・説明のクオリティーはどの程度のものなのかを知りたかったから。③弟が別の学校で理数科に所属しており、実際に大学に実験をしに行っていたりしたのを見て、せっかくの機会だし前から気になっていたので、人前で研究をポスターにまとめて説明するという貴重な体験をすることで今後の生活にも活かしていけると考えたからです。また同じ全国の高校生たちの取組を知ることで、勉強や他の点でも刺激をもらえと思いました。

2 発表当日までにどのようなことをして、どのような経験をして、その中ではどのような学びがあったのか。

①原稿を考えるにあたって、今まで自分がやってきた実験で大切なことは何だったのか、他人にこの良さを分かってもらうにはどんな話し方をしたり説明すればよいのかを考えたことは、とても力になったと思います。この研究を通してこれからどう活かすべきかなど、実験の意義を考えることの大切さを学びました。②どのように発表すれば相手にわかりやすく伝わるのか、どのようにすれば見やすいポスターができるのかと1つのことを深く考えることの大切さを学びました。またポスターや論文を作る中でパソコンの使い方も学べた。③論文・ポスター・発表原稿など、ほとんどをパソコンを使って作成したため、パソコンの使い方が分かったことは今後に活きると思う。またポスターを作るとき、どうしたら人の目をひけるか、興味をわかせることができるかという2点を意識して作ったが、題名を大きくしたり、使用した実験道具を持参したりという工夫もできた。

3 ポスター発表を経験してどのようなことを感じたか（他校の参加者との比較も）

①他人にわかりやすく説明したり、人前で緊張せずに話すのは得意なつもりだったが、思いもよらない質問には困惑してしまった。質問対策は大事だと思った。②事前に質疑応答について考えていたので問題なく対応出来た。改善点としては他校に比べて発表の工夫が足りなかった。たとえば同じクラスについて調べていた他の学校は実験の映像をiPadを準備して見せていたり、実験道具を見せていた。そうすることでとても聞きやすかったので学校の発表で活かしたい。③事前にクラスの生態について夏休みに調べていたので、質問されたときにも受け答えできたと思う。またキャラクター（セイカちゃん）の効果は聞き手にも反応が良く、話すときもコミュニケーションが取れたりしたのは良かった。クラスを知らない人からすると、違いを言われただけでも伝わりにくいので、イラストや音声があったほうがわかりやすかったと思う。全体的に長い説明になったので、要点を押さえて重要なところを切り取って伝えるべきだと思いました。

4 今後のキャリア・進路選択・学びに対する姿勢にどのような影響がありましたか。

①今まで自分が考えもつかないような実験をやっていた高校もあって、自分が興味のある分野もいろいろな視点からみることができた。自分から企業や施設にアポをとり訪問したりして興味のある分野に積極的に動いているのを見て、自分もそういう機会をもっと有効活用していきたいと思った。②文系のクラスに所属しているのですが、今回のゼミは「クラス」について調べました。要するに理系の内容です。周りの人からは「文系内容にしるよ」とかいわれていたけれど、文系だからこそ理系の内容を知るべきだとおもいます。実際今回とても良い経験ができたので、大学でも文理どちらも深められる学部に進みたいという選択肢も増えました。③ポスター発表において要点をきつままでわかりやすく話すという大切さを実感させられた。発表後の京都大学の先生のコメントを聞いて、自分は少し話しすぎたかなと思った。